

園聖句 私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

今月の聖句

「あなたがたは地の塩である」(マタイ5:13)

今月の聖句の続きがあり、「だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味を付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである」そして14節に続き『あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。』となります。神様は『そのままの自分で良いよ』と伝えて下さっています。この神様の御言葉を私たちの日々の姿から子どもに伝える関わりが出来ていますように！

10月の行事予定

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 3日(月) 乳児組敬老個別参観～10/14 | 24日(月) ちゅうりっぷ参観面談期間 |
| 7日(金) 幼児組クラス懇談会 7:00 | ～11/11まで |
| 8日(土) ※離乳食をつくってみる会II | 27日(木) おべんとうの日 |
| 8日(土) ※あそびにおいでよ(小学1～3年) | (幼児 八瀬野外保育センター) |
| 19日(水) 誕生会 | *バザー 11/3 |
| 16日(日) ゆり組親睦遠足 | ◇園庭開放 6, 13、 |
| 20日(木) おいもほり(雨天 21日) | ◇おいでよ赤ちゃん 25 |
| | ◇あそぼう会 5, 19、 |

《おいもほり》 10月20日(木)

今年も、桂川の河川敷の畑でおいも掘りをします。一生懸命土を掘って、お芋を発見し、出てきた時の子どもの「やったあ！見て！」の顔は、自分の手で収穫した喜びにみちています。お芋だけでなく、畑の中の虫にも歓声が上がり、心も体も自然に触れるひと時です。実りの秋を、心を動かし感じることでできる時としたいと思います。収穫したさつまいもは、給食やおやつで味わいます。

《バザー》 11月3日

11月3日の「桂教会・桂保育園・桂ぶどうの木こども園バザー」があと1ヶ月後に迫りました。卒園の方々も、バザーを楽しみにしていただいています。桂保育園と桂ぶどうの木こども園がともに分担して会場となります。どうぞどちらの会場も覗いて下さい。当日はより多くの方々に楽しんでいただけるようにご協力のほどよろしくお願い致します。今後、「案内用ポスターの作成掲示」や、「食事コーナー用の献品」などまだまだご協力をお願いすることがあると思います。どうかよろしくお願い致します。

9月26日の幼児の礼拝で『11月3日のバザーでみんなが作った手作りの物売って熊本に献金するお金をあつめよう』と話しをしました。子ども達も理解してくれ何を作って売るか考えてくれています。当日ゆりの子ども達には売のお手伝いしてもらおうと思います。ご協力よろしくお願い致します。

《敬老の日のプレゼントについて》

自分たちを大切に愛してくれる人の存在に気付く事は、子ども達の育ちに大きな力になります。大きくなって『自分でなんでも出来る、しないといけない』と思った時に、自分の周りで支えてくれる人の存在に、思いに気付く日であってほしいと思い、9月の「敬老の日」を伝える事を大切にし取り組んでいます。

おじいちゃん、おばあちゃんに子ども達が自分の力で作れる物を制作して(ちゅうりっぷさんは笑顔っぱいの写真です)プレゼントを用意しました。幼児さんは、「保育園にあそびに来てくれてありがとう！」乳児さんは「敬老参観に来てね！」そして子ども達みんなの「いつも自分たちの事を思ってくれてありがとう」の気持ちを込めて贈らせていただきました。

『敬老参観』は、幼児さんは7月に、乳児さんが10月で取り組んでいます。おじいちゃんおばあちゃんと一緒に園で過ごすひときは、きっとこれからの成長に貴重なものとなります。乳児さんは個別参観として一緒に楽しんでもらいます。どうぞ園にあそびに来てください。幼児さん7月にたくさんの方々に参加して頂いてありがとうございました。

《保育者を目指す学生さんの実習受け入れについて》

保育の現場には、保育者を目指して勉強しているいろんな養成校の学生さんが実習にやってきます。

特に、桂ぶどうの木こども園には同一法人の中に保育士及び介護福祉士の養成校(京都保育福祉専門学院)があり、保育科の学生さんが実習の第一段階としての見学実習にやってきます。子どもの様子、保育の様子などを実際にみて触れて学ぶことは大切です。

10月から1月にかけての木曜日午前中。朝の登園時間などご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ご理解の程よろしく願います。

《「うんどうあそびの日」ありがとうございました》

うんどうあそびの週はお天気が心配されましたが、当日は暑いくらいのお天気で、みんなで心と体を動かして楽しんだ『うんどうあそびの日』でした。

小さいお友達は、お家の人が傍にいて一緒に楽しんでくれる安心感があつたからの姿を見せてくれました。入園してはじめてのうんどうあそびの日を経験したちゅうりっぷさん、毎日している体づくりの体操はみんな大好きで、お友達がしてもらっていると「次はわたし！」と待っています。たんぼぼさんのおだんごは、ちゅうりっぷの時の親子であそぼうでみんなで作ったおだんごです。あの日から段ボールの滑り台をころがしてあそび、自分のおだんご見つけを楽しむようになりました。すみれさんのおともだちは、たんぼぼさんのうんどうあそび(ちょうど1年前)ではじめての出会いそれから仲良くなり、何をするのも一緒に園で過ごしています。幼児さんはお相手さんが傍にいてくれるから頑張れたさくらさんの姿がありました。どうぶつさんは、7月にぐりとぐらのカステラを作った事から絵具や、はりぼて色々なカステラづくりを楽しんできました。当日はパナバルーンで大きなカステラが出来て大満足でしたね！ことりさんは親子遠足で八瀬のお山を冒険した事がきっかけで冒険のお話に出会いました。最後の星探しは当日のサプライズで子ども達もあの時はじめて星を探す事を知りました。さかなさんのトンネルあそびは「トンネル トンネル」いう絵本を見た子ども達が、自分の体でトンネルをつくり遊びだした事からはじまりました。さくらさんが一生懸命セリフを言っている姿が印象的でしたね！そしてゆりさんのなわとびにリレーは園で一番大きなお友達として、挑戦する気持ち、自分の力を信じる気持ち、仲間と力を合わせる気持ちをしっかりと見せてくれました。子ども達は、この日色々な気持ちを感じながら過ごした一日でした。そして「楽しかった」「うれしかった」「頑張れた」という気持ちを感じたことでしょう。それは、大人の見守りという安心感があつてこそこの気持ちでした。子ども達が楽しく、笑顔で一日を終える事が出来たのも色々な形で、ご協力下さった保護者の方のお心づかいがあつたからです。ありがとうございました。